

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、 国立国際医療研究センター国府台病院 糖尿病内分泌代謝内科・総合内科・外科では、本センターで保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究を実施します。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 膵切除例における術後耐糖能異常および糖尿病治療に及ぼす因子に関する後ろ向き観察研究

[研究対象者]

18歳以上で、2014年4月1日より2024年7月31日まで国府台病院で膵切除術を施行された方。

[利用する診療情報等の項目と取得方法]

診療情報等：術前の糖尿病の有無、Cペプチド、切除部位、インスリン処方の有無、術前後の膵臓のCT面積・年齢・性別・既往歴・併存疾患・糖尿病合併症・身体計測項目・血液検査・尿検査・画像検査・生理検査に関する情報をカルテから収集し利用します。

[利用の目的] (遺伝子解析研究： 無)

糖尿病は、膵臓の β 細胞に由来するインスリンの不足や作用低下による慢性的な高血糖に特徴付けられる症候群です。膵臓の腫瘍性病変に対して膵切除術を行った結果インスリン分泌が低下し、膵性糖尿病をきたすことがあります。そこで本研究では当院で過去10年間において当院外科で膵切除術を行った患者の術前後の糖尿病の有無、Cペプチド、膵臓の切除部位、インスリン処方の有無、膵臓のCT面積などについて後ろ向きに解析し、膵臓の切除とインスリンの必要性の関係性を明らかにすることを目的に実施します。

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2027年3月31日までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本センター倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立国際医療研究センター 理事長 國土 典宏

研究責任者：国立国際医療研究センター国府台病院 糖尿病内分泌代謝内科 箱島 真理子

研究内容の問合せ担当者：国立国際医療研究センター国府台病院 糖尿病内分泌代謝内科 箱島 真理子

電話：047-372-3501（代表）（応対可能時間：平日9時～17時）